



『不整脈って何？』



しもじ内科クリニック院長

下地 栄壮



心臓は、全身に血液を送り出すポンプの役割をしており、休むことなく1日に約10万回も収縮と拡張という拍動を繰り返しています。

心臓はこぶし程の大きさで、心筋と呼ばれる特殊な筋肉でできています。心臓は4つの部屋に分かれており、上側を心房(しんぼう)、下側を心室(しんしつ)と呼びそれぞれ左右に分かれています。この4つの部屋がリズムカルに拍動を繰り返すことで、心臓は効率的に血液を送り出すことができます。

心房と心室がリズムカルに収縮するために、心臓は特別な電気刺激の回路をもっています。洞結節(どうけっせつ)と呼ばれる場所で1分間に60-80回程度の電気刺激が作り出されます。



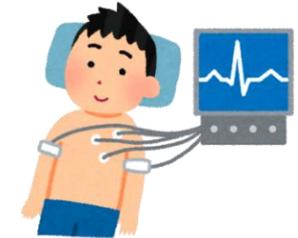
電気刺激は、まず心房を通ることで心房の筋肉を収縮させ、さらに房室結節(ぼうしつけっせつ)と呼ばれる心臓中心部を通して心室に伝えられ、心室の筋肉を収縮させます。

心臓内の電気を伝達する回路は刺激伝導系と呼ばれ、心臓が規則正しく拍動するための重要な働きをしています。

この様な心臓内の電気の流れを検出し、波形として記録したものが“心電図”です。

不整脈とは、この電気の流れが乱れる病気です。不整脈が起こると、脈が異常に速くなったり遅くなったりすることがあり、動悸やめまい、ふらつきなどの症状を認めることがあります。

不整脈の診断は、心電図が最も基本的で重要ですが、症状がない時に検査をしても分からないこともあり、ホルター心電図(24時間心電図)やより専門的な電気生理学的検査(心臓カテーテルを使った検査)を行うこともあります。



お知らせ

6月14日(土)は、学会参加のために**12時までの診療**とさせていただきます。ご迷惑をお掛けして大変申し訳ございませんが、宜しくお願いいたします。



しもじ内科クリニック(nico nico studio)

東区三苦3丁目2-49(福岡銀行美和台支店隣り)
TEL:092-605-6300